

「博士課程教育リーディングプログラム」中間評価結果

機関名	東京大学	整理番号	O04
プログラム名称	数物フロンティア・リーディング大学院		
プログラム責任者	坪井 俊	プログラム コーディネーター	河野 俊丈

◇博士課程教育リーディングプログラム委員会における評価（公表用）

[総括評価]

一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。

[コメント]

リーダーを養成する学位プログラムの確立については、必修のコースワーク、正副指導教員や海外研究者による指導、海外派遣など、学生の意識を高めグローバルな俯瞰力を涵養し切磋琢磨させるプログラムの効果が現れていることは評価できる。しかし、従来の理工学分野での数学応用を超える発展を担う世界的なリーダーを養成するプログラムとしての独自性は十分に明確化されておらず、今後の努力が必要である。

産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性について、学生の自主的な活動のための環境の整備、海外派遣による国際感覚の涵養、産業界との連携による課題発見の訓練などの取組については評価できる。しかし一方で、産官民へのキャリアパスの見通しも限定的であることから、目指すべきリーダー像の明確化やキャリア支援室の実効性向上については、今後の努力が望まれる。

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備については、もとより強力な指導体制を有しており、本プログラムの特任教員・教育支援員を加えることで充実した体制になっていると評価できる。しかしキャリア支援室の効果はまだ明確に現れていないため、産官への新たなネットワークの構築および強化を進めることも重要である。またプログラム担当者全員の能力が本プログラムの趣旨に沿って十分に活用され、注力されているかについても疑念が残る。

優秀な学生の獲得については、適度な競争により優秀な学生が選抜され、他大学出身者や留学生を含め多数確保できており、適切で有効な経済的支援もなされていると高く評価できる。今後はキャリアパスの拡大と並行して、社会人学生獲得等も考慮した工夫が望まれる。

世界に通用する確かな学位の質保証システムについて、高度なレベルが設定されたQEと学位審査基準の明確化、学術的内容に加えて数学と諸科学連携についての理解と国際的研究者資質を審査する方針としたことなどは評価できる。しかし本プログラムが新たに育成する「産官民で活躍するグローバルリーダー」としての資質を保証するという観点では、更なる工夫や判定基準の強化が望まれる。

事業の定着・発展について、全学的なマネジメント体制が整備されたことと、外部評価によってプログラムを改善する仕組みを整備したことは評価できる。本プログラムの学内への波及のための方法と、財源確保を含めた具体的な将来構想の策定、及び外部評価の結果の有効活用に今後一層の努力が求められる。

総括的には、現状においては従前からの高度グローバル研究者の育成と、研究指導体制の維持と強化に留まることが危惧されるため、本プログラムの趣旨に沿ったリーダー育成のための一層の努力が必要である。